

平成30年度岩手県看護協会  
保健師研修会 (2018/08/18)

## グループワーク

# 統括保健師として 一歩前に進むために

## 平成30年度保健師研修会 グループワーク進め方

11:05~11:10 情報提供(保健師職能委員長)

11:10~11:40 グループワーク(記録・発表は事務局)

11:40~11:50 グループ発表(1G 2分 ※重複省略)

11:50~12:00 話題提供者からの助言  
(武田課長、及川保健師長)  
奥寺副会長まとめ

## グループワークの進め方

◆テーマ: 統括保健師として一歩前に進むために

- ①本日の感想、意見(質問)等
- ②統括保健師としての活動事例の紹介(その他)

グループ : 2G~6G(各グループ1G 6名~7名)  
※1Gなし

※実際に統括保健師が置かれている組織と、そうでない組織があると思いますが、情報共有、交換させていただき中、今後につなげていきたいと思えます。

## 2G 統括保健師として一歩前に進むために

### ①本日の感想、意見

- ・県と市町村では立場が異なり、求められる役割が異なることが理解できた
- ・分散配置が多い自治体では、統括保健師の存在が特に大事である

### ②統括保健師としての活動事例

- ・もともとあった連絡会をもとに、県立二戸病院の看護職と二戸市の保健師が一緒に子育て世代包括支援センター立ち上げに向けた話し合いの場を設けている。
- ・保健師の配置、体制について、組織横断的に話し合う検討部会を立ち上げて、自組織内における保健師の必要性を明確にしている。

### ・その他

- ・地域包括支援センターを直営で設置している市町村にとっては、保健師の配置やローテーションが課題となっている。
- ・地域包括支援センターが委託の場合、統括保健師には委託先の包括支援センターの活動が見えない(把握できない)

## 3G 統括保健師として一歩前に進むために

### ①本日の感想、意見

- ・岩手・宮城内陸地震をキッカケに保健師長をおくことになった(本庁保健師に求められるものが多く、つらいこともあった)
- ・3.11も含め、必要性、重要性が叫ばれるようになったが大変である現実もある
- ・ポストはその人だけでなく、保健師として、組織として必要なものであり、横断的に見る上でも大事
- ・自分たちの稼働量を出すことが(活動日報)大事
- ・統括保健師としての稼働量も出しているようにしよう
- ・事務職の理解、他職種の理解をもらえるようにしていくことが大事

### ②統括保健師としての活動事例

- ・保健師の動きは保健師長にやってもらおうという形ができてきている
- ・有事に限らず、保健師長の一言で調整、動けるようになったこと
- ・係長級の会議を定期的に行えるようになってきている
- ・保健師としての専門性と、行政職との橋渡し、お互いの理解を進めていくことが課題
- ・事務職の意見もあえて、もらいながら進めていくことで進められる(大事にする姿勢)

### ・その他

- ・滝沢市では、他の行政職の位置づけに習って「総括〇〇〇」という名称で統括的役割を担う保健師を配置している

## 4G 統括保健師として一歩前に進むために

### ①本日の感想、意見

- ・参加してよかった!
- ・自分自身の業務を整理、考えていくことができた
- ・新人の育成(人材育成)についても考えることできた
- ・日頃の活動から、分散化が進んでいる中で、子育て支援センターなどにベテランがとられてしまっている現実もある(Healthが若い人)

### ②統括保健師としての活動事例

- ・統括のもっている課題は同じ。決断、信用、メンバーの声を聞きながら進めること。自信を持つことも大事。
- ・なぜ?自分が統括に?と正直、思った⇒研修会など参加して気づき、覚悟もできた。ネットワークもできた。
- ・保健師の定例会を業務時間内に実施し、上司に報告することで理解されてきた。
- ・保健師が同じ方向を向くよう日頃の悩みを共有できるよう日々取り組んでいる。

### ・その他

- ・統括保健師ができてしばらくになるが、総括も育ってきていると感じた。
- ・県では、キャリアラダーに合わせた指針の見直しを部会を立ち上げて取り組むところ。

## 5G 統括保健師として一歩前に進むために

### ①本日の感想、意見

- ・課長職（事務）との兼務もあり、保健師業務との分け方の難しさ
- ・Healthで統括がいなくとも、統括的な役割をしなければならない現実もある
- ・課長職が事務職の場合、保健師の理解の難しさもある
- ・分散配置について、他課の保健師をまとめることの難しさもある

### ②統括保健師としての活動事例

- ・災害時に統括保健師があることで、支援体制が整えられる、組むことができる
- ・保健所との連絡がスムーズに行える
- ・行政の中での統括の位置づけがどうなっているかで、権限など変わってくる
- ・規則に明記されていることで「統括」の役割が明確になった

### ・その他

- ・保健師のトップ(課長職等)と統括を分けられている自治体もあり、それぞれの役割、業務の範囲、体制づくりが不明確になっているところもある

## 6G 統括保健師として一歩前に進むために

### ①本日の感想、意見

- ・統括保健師として意識しながら活動しなくてはと思うが、日常業務に追われてしまう。
- ・保健所では、中堅保健師が不足（中堅保健師は県庁勤務が多い）。次期統括保健師を引き継げるか心配。また新人をうまく育てていけるか不安。
- ・統括保健師として意識していくための教育が大切

### ②統括保健師としての活動事例

- ・分散配置が進んでいるが、ジョブローテーションも考慮し、保健師間の情報交換会（打合せ）を行い、お互いに情報共有している。
- ・他部署を意識することが必要（できる）

### ・その他

- ・今後、地域包括支援センターで勤務している保健師のジョブローテーションをどうするか

## 武田課長さんから(話題提供者)

- ・話題提供者となり、統括保健師とは何かと考えることができた
- ・これからを進めるうえで、現状や課題を共有できたことが良かった
- ・組織の成熟度や構成等によって、統括保健師の役割は変化があってもいいのではないかと
- ・人材育成指針をよりよいものにしていきましょう

## 及川保健師長さんから(話題提供者)

- ・統括保健師として活動していくために大事なことを一言でいうと、みんなとうまくやっていくこと
- ・他の課長職との交流、親しくしていくことで、保健師の役割や活動が認識され、業務を円滑に進めることができる
- ・日頃からの何気ないコミュニケーションが大事である。
- ・（専門職だけでなく、事務職との連携）

## 奥寺副会長から(まとめ)

- ・こんなにも統括保健師が意識されるようになった
- ・県の役割、自分らしさを大事に、言葉を大事に
- ・市町村の役割、有無を言わせない人材育成体制
- ・現任教育体制の中で、統括保健師の教育体制をどうするか
- ・今後の課題である
- ・統括保健師を対象とする研修をどこが担うべきか？
- ・県？ 看護協会？ 保健師長会？
- ・話題、ご意見をたくさんいただきましたことに感謝